



2024年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年11月10日

上場会社名 日本プラスト株式会社 上場取引所 東
コード番号 7291 URL <https://www.n-plast.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 永野 博久
問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画本部長 (氏名) 青木 智彦 TEL 0544-58-9080
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日 配当支払開始予定日 2023年12月4日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（動画配信を予定しております）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	58,208	22.9	1,724	—	2,110	—	1,829	—
2023年3月期第2四半期	47,364	11.6	△1,284	—	△796	—	△1,471	—

（注）包括利益 2024年3月期第2四半期 4,191百万円（61.7%） 2023年3月期第2四半期 2,592百万円（92.3%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	95.64	—
2023年3月期第2四半期	△76.96	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	83,010	30,313	36.5
2023年3月期	81,450	26,219	32.2

（参考）自己資本 2024年3月期第2四半期 30,313百万円 2023年3月期 26,219百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	5.00	—	5.00	10.00
2024年3月期	—	7.50	—	—	—
2024年3月期（予想）	—	—	—	7.50	15.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	125,000	20.9	2,900	—	3,000	—	2,000	—	104.54

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 8「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 (四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年3月期2Q	19,410,000株	2023年3月期	19,410,000株
② 期末自己株式数	2024年3月期2Q	279,892株	2023年3月期	279,520株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年3月期2Q	19,130,260株	2023年3月期2Q	19,123,853株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く環境は、世界的な半導体供給不足は徐々に緩和され、自動車の生産は回復傾向にあります。中国では、EV（電気自動車）シフトが急速に進み、市場のニーズが大きく変化していることやロシア・ウクライナ情勢といった不安定な世界情勢等の懸念は残存し、引き続き不透明な状況にあります。

このような状況の中、当第2四半期連結累計期間における売上高は、中国での日系自動車メーカーの販売苦戦の影響等による減収はあるものの、半導体供給不足緩和に伴う得意先の生産回復、新車効果、原材料価格高騰等の販売価格転嫁の進展、為替換算による増収影響等により前年同期比22.9%増の58,208百万円となりました。損益面では、中国での減収影響、賃金上昇を受けた労務費の増加等による悪化要因はあるものの、その他の地域での増収影響、合理化による収益改善、原材料価格高騰等の落ち着きや得意先の生産回復を受けた生産ロス解消等により営業利益は1,724百万円（前年同期は1,284百万円の営業損失）、経常利益は外貨建債権や海外連結子会社に対する貸付金の期末為替レートによる評価により為替差益を計上したこと等を受け2,110百万円（前年同期は796百万円の経常損失）となりました。また、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,829百万円（前年同期は1,471百万円の親会社株主に帰属する四半期純損失）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① 日本

国内の売上高は、半導体供給不足緩和に伴う得意先の生産回復、新車効果等により21,029百万円と前年同期に比べ4,819百万円（29.7%）の増収となりました。セグメント利益は、19百万円（前年同期は819百万円のセグメント損失）となりました。賃金上昇を受けた労務費の増加、車種構成差等の悪化要因はあるものの、増収影響、合理化による収益改善、得意先の生産回復を受けた生産ロスの解消等により黒字化を達成しました。

② 北米

北米の売上高は、半導体供給不足緩和に伴う得意先の生産回復、新車効果、原材料価格高騰等の販売価格転嫁の進展、為替換算による増収影響等により27,781百万円と前年同期に比べ9,898百万円（55.4%）の増収となりました。セグメント利益は、1,587百万円（前年同期は1,129百万円のセグメント損失）となりました。賃金上昇を受けた労務費の増加等はあるものの、増収影響、合理化による収益改善、原材料価格高騰等の落ち着きや得意先の生産回復を受けた生産ロスの解消等により黒字化を達成しました。

③ 中国

中国の売上高は、日系自動車メーカーの販売が苦戦している影響等により7,467百万円と前年同期に比べ4,107百万円（△35.5%）の減収となりました。セグメント損失は、70百万円（前年同期は660百万円のセグメント利益）となりました。合理化による収益改善をはかるものの、減収影響等により赤字に転じました。

④ 東南アジア

東南アジアの売上高は、半導体供給不足緩和に伴う得意先の生産回復、新車効果、為替換算による増収影響等により1,930百万円と前年同期に比べ232百万円（13.7%）の増収となりました。セグメント利益は、235百万円（前年同期は58百万円のセグメント損失）となり、増収影響、合理化による収益改善等により黒字化を達成しました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、83,010百万円となり、前連結会計年度に比べ1,560百万円増加しました。これは受取手形及び売掛金の増加1,768百万円が主な要因であります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、52,696百万円となり、前連結会計年度に比べ2,534百万円減少しました。これは短期借入金の減少2,443百万円が主な要因であります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、30,313百万円となり、前連結会計年度に比べ4,094百万円増加しました。これは為替換算調整勘定の増加1,805百万円及び利益剰余金の増加1,732百万円が主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期通期の連結業績予想につきましては、現時点においては2023年11月1日に公表の業績予想値より変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,646	11,727
受取手形及び売掛金	15,533	17,302
製品	2,701	2,389
仕掛品	1,311	1,335
原材料及び貯蔵品	12,946	11,696
その他	1,902	1,567
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	46,038	46,015
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	9,465	9,825
機械装置及び運搬具（純額）	11,296	11,410
工具、器具及び備品（純額）	4,281	4,310
土地	3,568	3,500
その他（純額）	2,986	3,082
有形固定資産合計	31,598	32,129
無形固定資産		
その他	257	275
無形固定資産合計	257	275
投資その他の資産		
投資有価証券	2,361	2,959
繰延税金資産	149	187
その他	1,052	1,450
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	3,556	4,589
固定資産合計	35,411	36,994
資産合計	81,450	83,010

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,840	10,155
短期借入金	20,439	17,996
1年内返済予定の長期借入金	2,987	2,671
未払法人税等	79	115
賞与引当金	805	723
役員賞与引当金	—	21
製品保証引当金	2,952	2,971
その他	5,537	6,439
流動負債合計	42,643	41,094
固定負債		
長期借入金	6,830	5,681
繰延税金負債	1,689	1,853
退職給付に係る負債	2,863	2,851
役員株式給付引当金	91	115
製品保証引当金	73	80
その他	1,039	1,019
固定負債合計	12,588	11,602
負債合計	55,231	52,696
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,206	3,206
資本剰余金	5,213	5,213
利益剰余金	16,577	18,310
自己株式	△123	△123
株主資本合計	24,873	26,606
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	872	1,310
為替換算調整勘定	920	2,726
退職給付に係る調整累計額	△448	△329
その他の包括利益累計額合計	1,345	3,707
純資産合計	26,219	30,313
負債純資産合計	81,450	83,010

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	47,364	58,208
売上原価	44,777	52,309
売上総利益	2,587	5,899
販売費及び一般管理費	3,872	4,174
営業利益又は営業損失(△)	△1,284	1,724
営業外収益		
受取利息	86	71
受取配当金	43	47
投資不動産賃貸料	32	32
持分法による投資利益	—	1
為替差益	397	634
その他	157	51
営業外収益合計	717	839
営業外費用		
支払利息	203	444
持分法による投資損失	1	—
その他	24	9
営業外費用合計	229	453
経常利益又は経常損失(△)	△796	2,110
特別利益		
固定資産売却益	—	2
特別利益合計	—	2
特別損失		
投資有価証券評価損	59	—
特別損失合計	59	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△855	2,113
法人税等	616	283
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,471	1,829
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△1,471	1,829

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△1,471	1,829
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	17	437
為替換算調整勘定	4,075	1,805
退職給付に係る調整額	△28	118
その他の包括利益合計	4,064	2,362
四半期包括利益	2,592	4,191
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,592	4,191

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年4月1日至2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	北米	中国	東南アジア	
売上高					
外部顧客への売上高	16,209	17,882	11,574	1,697	47,364
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,129	4	949	2,595	6,678
計	19,338	17,886	12,524	4,292	54,042
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	△819	△1,129	660	△58	△1,346

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	△1,346
セグメント間取引消去	61
その他の調整	0
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△1,284

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年4月1日至2023年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				合計
	日本	北米	中国	東南アジア	
売上高					
外部顧客への売上高	21,029	27,781	7,467	1,930	58,208
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,507	19	1,084	3,534	7,146
計	23,536	27,800	8,552	5,465	65,355
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	19	1,587	△70	235	1,770

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,770
セグメント間取引消去	△46
その他の調整	0
四半期連結損益計算書の営業利益	1,724